

## 実績や畜産情勢など報告 畜産座談会開催



▲開会にあたり挨拶する岡部常務

平成29年度畜産座談会が2月7日に酒田地区、8日に遊佐地区で開催されました。7日に、養豚農家を対象に酒田ひがし支店で開かれた座談会では、畜産課の佐藤正富課長が29年度畜産事業実績と12月末の頭羽数を報告。JA全農山形の担当職員が豚肉情勢について「国産供給量は前年を割り込み、輸入が攻勢を強めている。一方、昨年12月期の家計調査では、全国1世帯当たり（2人以上）の豚肉購入数量は1874g、支出金額2771円で購入数量と支出金額ともに前年同月を上回った」と説明。生産者からは堆肥の処理などについて相談が出ました。

同日夜には、牛の肥育と繁殖、酪農農家対象に、同様の座談会が開かれました。

## 商品への知識深める 業者向け住宅ローン説明会開催

当JAは2月16日、ホテルリッチ&ガーデン酒田で「JA住宅ローン関連説明会ならびに情報交換会」を開き、管内の大手や工務店の担当者など31人が参加しました。JA住宅ローンについて取引業者から知識を深めてもらい、顧客との円滑な手続きに役立てることが目的です。

説明会では、税理士法人ピアツピアの木口隆代表が平成30年度の住宅関連税制について、続いてJAの担当者が金利条件や商品概要、JA共済の建物更生共済の説明を行いました。参加者からは「30年度の金利見通しは」など積極的な質問が出され、JAの担当者は「顧客によって案件はさまざま。分からないことがあれば問合せを」と呼び掛けました。



▲住宅関連税制について説明を行う木口代表

## JA農業機械課2部門で連覇 JA全農山形農業機械事業推進大会



▲賞状を手にする今野智係長（左）、斎藤知之さん（左から2番目）、川村敏範さん（左から3番目）、本間賢センター長

北部農機センターの今野智係長が、農機事業の確立とシェア拡大を目的とするJA全農山形が主催の「シェア拡大コンテスト」で、総合部門最優秀賞を受賞し県内1位に輝き、見事2連覇を果たしました。また、みどり農機センターの斎藤知之さんと川村敏範さんが共に優良賞を受賞しました。

農機事業拡大とサービス機能向上を図る「修理整備コンテスト」では、北部農機センターが総合部門最優秀賞を受賞し、同センターの本間賢センター長が賞状を受け取りました。こちらも2年連続県内1位の榮譽に輝きました。

今野係長は「生産者のための仕事が評価されてうれしい」と目を細めました。